



まちへの愛着が活動の根幹に 日吉郷土史会



▲日吉郷土史会の役員

日吉郷土史会（以後、「同会」と略します）は、区役所の協力を得て、2014（H26）年から幸区地域課題対応事業「地域資源を活かしたまちづくり事業」の一環として、講座「日吉の歴史をさぐる」全12回（4月～翌年3月の主に第3土曜日14時）を主催しています。

同会の始まりは南加瀬こども文化センターで開催された歴史の講座でした。講座終了を残念に思った人たちが会を立ち上げようと仲間を集め2002（H14）年に発足しました。地元の歴史に詳しい人たちは高齢になり、「伝えていかなければ埋もれてしまう日吉の歴史を、後の世代にもつなげたい」との思いから『日吉郷土史会』と名づけました。



▲熱心に聴き入る受講者

2003（H15）年、講座は、日吉分館の設立以来、幸区の自主学級事業やまちづくり事業の支援を受け、テーマを「私たちのふるさとを語ろう、知ろう」「日吉の歴史をさぐる」等の地域を大切にしたいという信念をもって活動を推進しています。講座の講師は多岐にわたっており、考古史・地域の史実・地域産業の推移・日吉の昔話等に詳しい方や、ミュージアム学芸員を始め地域郷土史家等により実施されてきました。

日吉の郷土史と関係の事柄に目を向けるのはもちろんのこと、講座の中では見学や訪問を大切にしながら、広く歴史をとらえる学習もすすめています。

日吉郷土史会のホームページには、「無量院訪問（H19年）」「仮名手本忠臣蔵の世界（H23年）」「赤穂浪士と歌舞伎（H26年）」等の見学記録が掲載してあり是非一度ご覧いただきたい



▲忠臣蔵の屏風絵 成川家所蔵

内容です。

地域の小学校での学習支援も大切な活動のひとつです。例年、日吉小学校の6年生には、日吉地区の歴史について話をした後、その中から、子どもたちが持った疑問や課題に取り組みます。「加瀬山古墳の歴史」「日吉地区の昔話」「加瀬山と太田道灌」等・・・各自の課題に対して同会のメンバーが講師となり、適切な指導助言を行っています。3年生は、毎年、七輪を使い炭火起こし体験をしていますが、同会のメンバーが一緒になって餅を焼き、昔の生活について話しながら、一緒に餅を食べています。児童数の増加に伴い、2015（H27）年からは、3日間の活動になりました。



▲継続している6年生への日吉の歴史講話

日吉分館の3階ロビーには、日吉郷土資料コーナーがあり、同会は展示に協力しました。

代表の近藤政次さんから、同会の活動について伺いました。昨年9月、幸区文化祭で行った『ミニ歴史講演』に



▲日吉郷土資料コーナー

参加した40代～50代男性から、



▲近藤政次さん

「地元の歴史に興味はあったのですが、平日では、なかなか参加できる機会がとれませんでした。今回、日曜日に開講してくれたおかげで、貴重な話を聴くことができるとてもよかったです。日時の設定を調整してくださり感謝して

います。」と嬉しい言葉をいただいたそうです。

2016（H28）年度からは、同会のメンバーが講師となり、「日吉ミニ歴史講座」を5月～6月、10月～11月にかけて各5回ずつ開催しました。2017（H29）度も引き続き開催する予定で計画中です。

■問合せ 近藤 政次さん Tel 044-599-3027

※「シニアのパレット」は、「まち・ひと・多面体」に統合しました。今後とも、地域における注目すべき取り組み・地域貢献・継続的な活動等を行っている個人やグループを紹介して参ります。